

幼稚園小學校研究集會參加報告(2)

八月號記録欄で御知らせしたように、去六月十二日から十七日まで、千葉縣市川市眞間小學校で幼稚園小學校研究集會が行われた。研究集會を幼稚園が行つたことは最初のこと、その成果は各方面から注目されてゐるところである。茲に集録するものは、これに参加した東京公立幼稚園代表の感想・參觀のレポードである。前號には、小山田氏の分を掲げた。今月號には山村きよ氏のものとされたのを掲げる。(編集部)

2 眞間小學校一年A組參觀記

東京公立幼稚園代表
港区立西櫻幼稚園

山村きよ

の劈頭第一にミスアレンプローズ女史から詳しく授業の見方と、評價の仕方について御注意をうけた、その大要は、

(一) 見方について

目標が何であるかを理解しておく。この目標達成の爲にいかなる方法にとられたかを見る。

又教師はいかなる準備をしたか、それが適當であつたか。

兒童が目標にふさわしい學習活動をしてきたか、即ち兒童の學習活動が價値あるものであつたか。

ワークシヨップの花形ともいふべきデモンストレーションテイチングの參觀は私共幼稚園関係者には一年生が割當られた。私はAクラスの授業を參觀することになった。男児二八女児三一計五九名が毎日六十分づゝ左記のような指導案のもとに四日間行われた、毎日の授業の前には必ず指導者の説明があり終つてからの一時間は各縣から集つた優秀な先生方の代表の方々によ

つて授業についての熱心なディスカッションが行われた、日頃幼年の立場から小學校低学年の授業參觀をのぞんで居た私も當面の保育に追はれていてその折もなかつたので今回は實に有意義な四日間の參觀であつた。指導計劃、實際の取扱についての一々詳しい批評は紙面が許さないで、私共保育関係者に取つて共通する参考點を二三のベ

て見たいと思う。まづワークシヨップ意圖した目標以外に何か重要な成果

が得られたか。

必要に應じてグループ構成がなされたか、教師は児童の個人差に應じて何か方法が講ぜられたか。

學習活動がスムーズに流れていたか、學習が活發で各児がそれ／＼うまく活動していたか。

(二) 評價の仕方について

實演授業目標からそれないように、單なる自己の経験や見解の公表であつてはならない。

會員の意見は相互に連關し發展的なものでなければならぬ(ある一人の發言が次の人にうけつがれて)

發言者は意見を簡單に述べ一人でも多くの時間を獨占することはいけない。各自は主題や目標からそれることなく集中的に發表し合ふことが必要である。

抽象的な原理や理論に終ることなく實際的な問題を中心すること。

授業者に對して最高の人格的敬意を拂い授業者の弱點をあげたりして尊

敬を失なつた態度はつゝしむべきだ。

これらのことを胸に帶して授業を參觀したのであるが多くの參考を得て、しかもそれが保育とのつながりに於て非常に考えさられる面が多かつた。一々實際の教育の場に突き當つてのべることが出来ないのを残念に思ふが感想をまとめて見るならば、

イ 目標について

授業の過程が單元のねらいを實現するように工夫されてはいたが適合してない箇所もあつた。

教師の行動は一つ／＼の目標の實現に合致するように努力されていたが、児童には目標の自覺がされていない面が見受けられた。

四日間の授業で豫定した目標は大體達成されたと思う。

ロ 準備について

教師の目標達成の爲に非常によく準備していた(教師の手になるいろ／＼の調査物も教室内に澤山展示されてあつた)

教師によつてあまりによく準備され

たため児童の活躍する場面が少く残念であつた。

せつかく教師の努力によつて準備されたいろ／＼の資料もある時間には多すぎてうまく活用されていないものもあつた。

ハ 方法について

目標達成のために教師があせりすぎて教師の活躍面が多く児童の活動が見られず、ことに靜的な感じのする授業が多く物足りなかつた、

教師の態度は實にやさしく一年生の擔任にはふさわしい態度であつた。

能力別指導の取扱には大いに考えさせられるところがあつた。

ニ 其の他

一年生の學習活動の基礎のどこかに保育効果を求めていた私はがっかりした一クラスの中に四分の一位の保育修了者では一年生の先生も保育の効果を認めるどころか、時には保育修了児童にとつては毎日の學習がかつての幼稚園生活に比べて大きなギャップのあることを考えてやらねばならない現状を

目のあたり見た（ここでも公立小學校に必ず幼稚園を附設したいと痛切に感じた）幼児の心理的な動きに、又個人差に細い心やりを持つて接している私共にはあの能力別指導に表はれた優生の活動には物足りなさを感じ、又劣生の中のグループには「可愛いそうに」と低學年の能力別指導のむづかしさを痛感した。

見せる授業として計劃されたものであるから止むを得ないと思うがあれだけに準備されたよい環境の中で、しかも教師は音楽にも園工にもすべて堪能のように見受けられたのに結果としては児童の持つている知識や技能を充分發揮して活潑な活動をする場面の少かつたのは非常に残念に思われた。

手前味噌の事を云ふならば、あの整理された環境の中に「よい保育」をうけた児童が23人も入つていたらならば學習活動の基礎ともなつて、優生は優生なりに一人で學習活動を發展させて先生を喜ばせ、又劣生も優生を環境として劣生なりに力一ぱいに活動して劣

等感を感じないので學習を進めて行かれるだろうに………しかもこうした保育効果が小學校の低學年の先生方によつて認めていたゞけたらどんなに嬉しい事かと四日間の授業にいつも〜夢見ていた事ではあつた。

◎ 參觀記

イ 環 境

（日の出學園幼稚料）

園の内外共に實に恵まれた環境である上に先生方の努力による細い保育室は勿論、玄関、便所に至る隅々まで行き届いて幼児にふさわしく整理されていた。

□ 目標と幼児の活動

一年生の授業で物足りなさを感じていた私はこの幼稚園で嬉しい情景を見た。幼稚園の者同志といふ感じが手傳つているかも知れないがこれは一緒に參觀された十數名の小學校の先生方からも參觀後のデイスカッションに發せられた言葉である。

先生と幼児が常に目標を實踐にうつ

して共に生活していた（遊びは勿論、ぞうきんがけから仕事の用意又後片づけ等）

幼児一人一人が自分の意志でいろいろの選びを見つ又材料を選んで作業をし、しかもそれが各組々のかげの目標の生活に結びついていた。

出來た製作品を見て（時計、つばめの巢等）ありありと幼児の手になる創作といふ感じを受けるものが多く、つばめの巢の中には無造作につまんだつばめのくちばしと思えるほほえましいものもあつて、その中のいくつかが着色されて各保育室の入口の上の方にせられてゐるのも嬉しい事だつた。

これらにも増して私の心に深い感銘をあたえたものは次のようなことだつた。

いろいろの遊びが一段終つてから、一同遊戯室に集つて新しいリズム遊びが行われた後四組の幼児がだん／＼と各組え、又玄関へ歸つて行く爲に各組から一人の幼児が出て來て自分の組の友達のためにピアノをひく。歩く友誼

は皆ピアノに合せようと努力する。しばらくするとびつたりピアノのテンポと幼児の足、拍手が氣持よく揃う、他の組も次々と同じように友達ひくピアノに合せて手拍手と正確なテンポで上手にあるく(左手は三和音の簡單なマーチ)年長組三組が楽しそうにだんだんと遊戯室から出て行つた後で年少組が残つた時先生も年少組ではと思つて一寸ためらつた先生が一應皆にきいて見た。すると一人の女兒が「先生わたしひけるの」と云つた、先生目を見はつて「あなたひけるの」ときくと自信たつぷりな「うなづき」を見せたので先生も嬉しそうにピアノの椅子に腰かけさせた。「どこをひくの」ときいたらしく、先生は右手をハ調三和音のキーの上のせてやつた。やがて三和音だけの音がリズム正しく聞えて來た。すると年少組幼児もピアノに合せて歩き出した、何のメロディーも聞えないリズムだけのボン／＼ひびくピアノの音に合せて元氣よく歩いた。先生はいそいで拍手をしてピアノのリズムを助けた、先生

の拍手、子供の足、三和音だけのボン／＼ひびく音(右手だけで左手はぶら／＼していた)が合致して何と愉快なことか私は思はず拍手を送つた、見ていた參觀人一同がどつと拍手を送つたのでびつくりしながら小さい人達は嬉しそうにだんだんと去つていつた。

低學年の音樂教育がとかく結果にのみ夢中になつていてその指導過程を考慮をせず子供の心理を無視した取扱いをされていることに不満を持つている私にはこと更此の先生の取扱ひに感じさせられた。子供の生活の中に自然と流される音樂的生活が積り積つてこんなにも正しいリズム感が出來たのか、又特別な音樂的環境におかれてゐる幼児達なのか、幼児の新しい音樂教育がどのようにあらねばならぬかと、その目標について實際の取扱ひについていろいろの研究する機會を持つた私にはこの場面が「音生活を生かす程度」と願つていた一場面の生きた參考資料として私を喜ばせた。

先生がしつかりした信念を持つて保

護者を指導してゐる事も大きな喜びだつた。雨の日にも玄關を出てしまふまでは絶対に手をかさないうで外で待つてゐる母親達、しかもこの日は參觀の爲に大變時間がおくれたのに長い間一定の場所に待ちつゞけた母親達は絶対に信頼感の持てる教師の日頃の態度がうかがわれた。經營の事を考へてとかく自分の教育信念をもまげて保護者の盲目的な愛情に迎合してゐる保育者もあるときく時まかせた以上は絶対に信頼感を持つて預け得る先生である爲にかくも徹底した保育が行われて、かくも澤山の保育効果をあげてゐるのだと思ひ、ユワーズ先生の講演にあつた「よい教師の條件」をもう一度考へて見た

第一學年（A組）學習指導略案

六月十四日（水） (9.30—11.00)		六月三十日（火） (9.30—10.30)		日時
音	國	社		教科
樂	語	會		單元又は題材
小石あそび	のりもの	市川の乗物		目
○簡易楽器に合せて楽しい小石遊び を行い、遊びの中に拍子聞きわ げる ○二拍子、三拍子、四拍子をきくわ ける	C	B	A	標
	文字表現、言語表現力をつける	物と文字を正しく結ばせる	繪本にしたしきをもたせ、大切に 利用する觀念を植えつける (以上略)	○乗物にはいろいろな種類がある ○電車の乗り降りができる ○仲よく協同してやる態度を身につ ける
○知っている歌をうたう ○小石あそびのグループを作る ○楽器のグループを作る ○歌にあわせて遊ぶ ○交代してやる 今迄にやつた歌や遊びをする 反省	○繪を見て文字表現をする カード合せをしてから文字表現 反省	○繪を見て何であるか發表—指導 繪カードと文字を合はせる 色ぬりと糊つけ	○乗物繪本を見る 繪本について話し合う—指導 ぬり繪 ○順次改良してごっこ遊びをする ○反省と次時えの關連 もつと面白くやるにはどんなもの がいるか	學 習 活 動
30分	60分	60分	60分	時間
同	同	同	篠崎二郎	指導者
右	右	右		

六月十七日 (土) (10.00-11.00)	六月十六日 (金) (9.30-11.00)			
社 會	園 工	算 數		
市川の乗物	どうぶつえん	の り もの		
<ul style="list-style-type: none"> ○電車には切符を見せてのる ○電車には一列に順序よくのる ○中へ入つたら入口に立たないようにする ○電車は驛長さんの指圖による ○車掌さんは驛長さんの指圖による ○降りたら出口で切符をわたす (以下略)	<ul style="list-style-type: none"> ○自由に動物を選んで工夫表現させる ○材料に親しんで面白くよるこんで作る 	C 時計の見方を知る	B 個数が12までの具體物を教えた り書いたりする	A 個数が6までの具體物を教えた り書いたりする
		<ul style="list-style-type: none"> ○役割をきめて持場につく ○切符をかつて電車にのる ○驛長は時計を見て發車合圖 ○動物園にいつて動物を見る ○電車で歸る ○學校へ歸る ○交通巡查の指圖に従つて ○紙芝居 ○感謝の歌をうたう ○反省	<ul style="list-style-type: none"> ○粘土配布 ○よくねる ○自分で練ながら何を作るかきめる ○人のまねをしない ○出来たら動物園に入れる ○反省	時計を作る 自己の生活に關係ある時間に針をあ わせる 反省
60分	30分			60分
同	同	同		
右	右	右		